

TAZMO®

第49期 年次報告書 2020年1月1日~2020年12月31日

Technology for People's Future

大幅な増益を達成 半導体設備投資は引続き好調 新たな事業の柱となる開発を進める



代表取締役社長 池田 俊夫

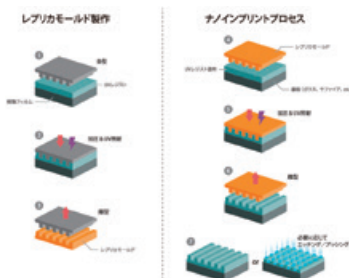
- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

▶業績及び事業報告

2020年の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が減速し、先行き不透明な状況で推移いたしました。一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、サーバーや5G(次世代移動通信)、リモートワーク向けなどのIT投資関連の需要拡大による設備投資は堅調に推移いたしました。装置の引合いはあるものの、コロナ禍の影響で海外への渡航制限など思うような営業活動ができない状況ではありましたが、本社及び工場は平常通り稼働す

▶ SCIVAX株式会社との業務提携契約を締結

2020年9月、SCIVAX株式会社（サイヴァクス：神奈川県川崎市）とナノインプリント量産装置の開発・独占製造・販売等に関する業務提携契約を締結しました。



ナノインプリントとは、原版となるモールドを型押しすることでナノメートル・スケール（1ナノメートルは10億分の1メートル）のパターンを転写する微細加工技術であり、シンプルな工程のため従来技術より安価に製造できる技術として期待されています。AR（拡張現実）ガラスや3Dセンサーなどに使用される光学レンズ、マイクロチップなど様々な製品の製造に用いられます。

ることができました。その結果、半導体業界が活況であったこともあり、プロセス機器事業におきましては増収となりました。

金型・樹脂成形事業においては中国経済の減速やスマートフォンなどの需要低下の影響があり、減収となりました。表面処理用機器事業におきましては、コロナ禍の影響でプリント基板メーカーの設備投資が遅延したことで受注にも影響があったことから減収となりました。以上のことから2020年度売上高は増収となりました。

利益面におきましては、利益率の高い半導体製造装置が売上計上されたことや、原価低減活動の効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも増益となりました。

▶ 今年度の見通し

コロナ禍の影響や米中貿易摩擦など、引続き世界経済の先行き不透明な状態は続いておりますが、当社グループが属しております半導体業界におきましては、2019年末から装置の引合いが急速に増えてきております。リモートワーク等の影響による大容量のデータセンター向けサーバーや5G関連、また今後は、

AIや車載向け、パワー半導体など半導体需要はますます拡大し、世界の半導体設備投資は2020年度以降も堅調に推移していくものと予想されます。

当社としましては、受注済みの案件を確実にこなし、少しでも利益を伸ばせるよう原価低減を進めるとともに、半導体メーカーやプリント基板メーカーの積極的な設備投資を受注につなげ売上・利益を伸ばしてまいります。また、新製品の開発を早急に行い、2021年度以降の業績を伸ばしていけるよう努めてまいります。

▶ 株主の皆さまへ

2020年9月よりSCIVAX株式会社「以下、SCIVAX社」とナノインプリント量産装置の開発・独占製造・販売等に関する業務提携契約を締結しました。ナノインプリント技術は幅広い分野での活用が期待されており、当社の新たな事業の柱として成長すると考えております。SCIVAX社が持つナノインプリント技術を使用した量産用装置を早期に開発し、SCIVAX社と共同で本事業の拡大を図ってまいります。株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

事業の概況

▶ 2020年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が急速に減速し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、自動車関連やスマートフォン関連の需要の減少が見られましたが、一方において、サーバーや5G（次世代移動通信）やリモートワーク向けなどIT投資用途の電子部品の需要の拡大による設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況の中当社グループは、中長期的な成長に向けて、海外出張等に制限のある中で顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動を維持してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は195億16百万円（前期比7.1%増）の増収となりました。営業利益18億86百万円（前期比98.2%増）、経常利益18億49百万円（前期比102.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益16億93百万円（前期比133.2%増）となりました。

2020年度 連結業績

	2020年度 当連結会計年度 自 2020年 1月 1日 至 2020年12月31日	ご参考	
		前連結会計年度 自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日	対前期 増減率
売上高	19,516 百万円	18,223 百万円	7.1%増
営業利益	1,886 百万円	951 百万円	98.2%増
経常利益	1,849 百万円	911 百万円	102.8%増
親会社株主に帰属する当期純利益	1,693 百万円	726 百万円	133.2%増

▶ セグメント別概況

プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、コロナ禍でリモートワーク向け等のIT投資関連の需要が伸びたことや利益率の高い半導体製造装置の検収が早まったため、売上高は40億46百万円（前期比58.5%増）となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、中国や台湾向けの受注状況は良かったものの、新型コロナウイルスの影響により、売上につきましては上期が計画よりも悪く、下期で挽回しましたが年間計画には届きませんでした。売上高は53億20百万円（前期比7.1%減）となりました。

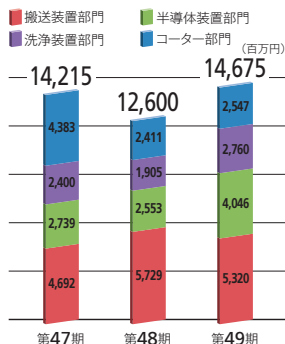
洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、前期からの豊富な受注残高があったことと、海外で検収遅延になっていた洗浄装置が検収されたため、売上高は27億60百万円（前期比44.9%増）となりました。

コーター部門

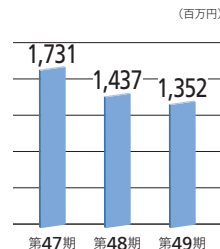
コーター部門につきましては、コロナ禍で海外出張制限がある中、海外メンバー中心に対応したことにより、ほぼ計画通り検収され、売上高は25億47百万円（前期比5.6%増）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は146億75百万円（前期比16.5%増）、営業利益17億35百万円（前期比151.6%増）となりました。



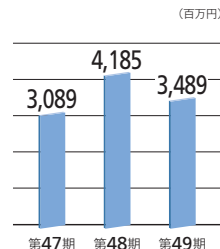
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、中国経済の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響がありましたが、コスト削減効果があり、売上高は13億52百万円（前期比5.9%減）、営業利益39百万円（前期比27.8%増）となりました。



表面処理用機器事業

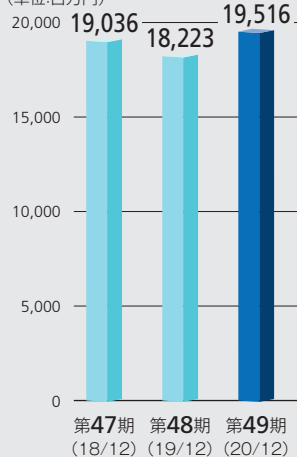
表面処理用機器事業につきましては、コロナ禍でプリント基板メーカーの設備投資が遅延し、製造拠点の中国工場の稼働率が低下しました。また、受注にも影響があり、売上高は34億89百万円（前期比16.6%減）、営業利益1億2百万円（前期比56.7%減）となりました。



財務ハイライト(連結)

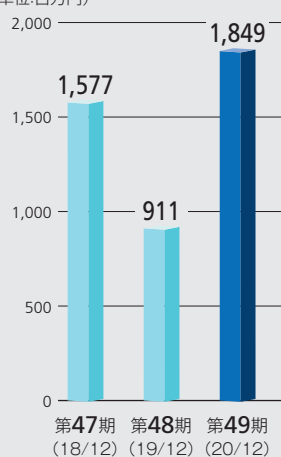
売上高

(単位:百万円)



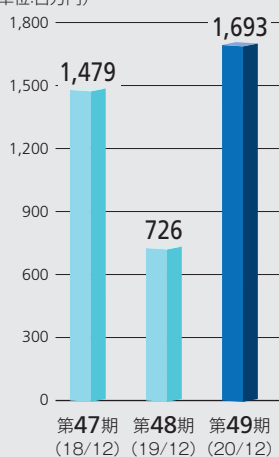
経常利益

(単位:百万円)



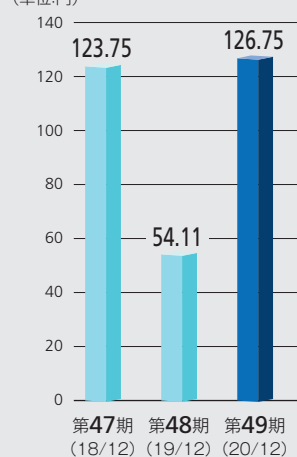
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



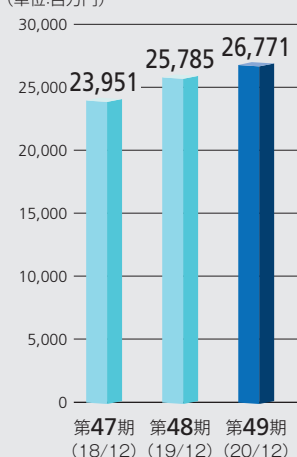
1株当たり当期純利益

(単位:円)



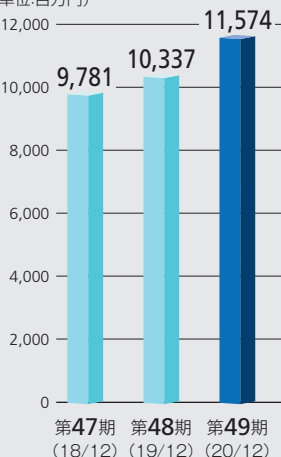
総資産

(単位:百万円)



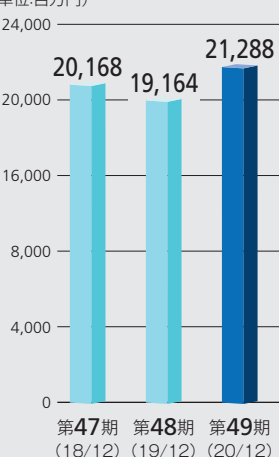
純資産

(単位:百万円)



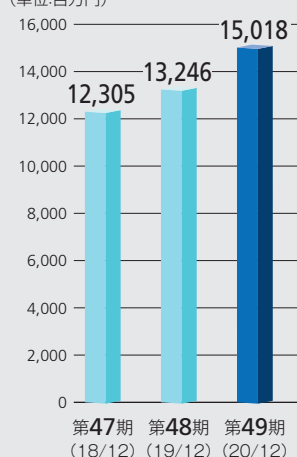
受注高

(単位:百万円)



受注残高

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計 年度末 (2019年12月31日)	当連結会計 年度末 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産	18,856	19,650
固定資産	6,928	7,120
資産合計	25,785	26,771
負債の部		
流動負債	11,814	12,154
固定負債	3,633	3,042
負債合計	15,447	15,196
純資産の部		
株主資本	10,185	11,485
資本金	2,724	2,724
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	4,999	6,571
自己株式	△ 184	△ 455
その他の包括利益累計額	△ 9	△ 81
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△ 9	△ 81
非支配株主持分	161	171
純資産合計	10,337	11,574
負債及び純資産合計	25,785	26,771

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自2019年 1月 1日 至2019年12月31日)	当連結会計年度 (自2020年 1月 1日 至2020年12月31日)
売上高	18,223	19,516
売上原価	13,811	14,216
売上総利益	4,411	5,300
販売費及び一般管理費	3,460	3,413
営業利益	951	1,886
営業外収益	58	62
営業外費用	98	99
経常利益	911	1,849
特別利益	9	46
特別損失	—	128
税金等調整前当期純利益	921	1,768
法人税、住民税及び事業税	223	218
法人税等調整額	△ 42	△ 162
当期純利益	740	1,712
非支配株主に帰属する当期純利益	14	18
親会社株主に帰属する当期純利益	726	1,693

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要 (2020年12月31日現在)

商号	タツモ株式会社
本社所在地	〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地
設立	1972年2月
資本金	2,724,067千円
事業内容	半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売
従業員数	342名(連結1,061名)
営業所・工場及び支店	第1工場・第3工場・第5工場／東京営業所
子会社	プレテック株式会社 TAZMO INC. 上海龍雲精密機械有限公司 TAZMO VIETNAM CO.,LTD. 龍雲亞普恩科技股份有限公司 龍雲阿普理夏電子科技(上海)有限公司 株式会社ファシリティ 富萊得(香港)有限公司 富萊得科技(東莞)有限公司 FACILITY HANOI CO.,LTD. 株式会社クオークテクノロジー
主要取引銀行	株式会社中国銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社商工組合中央金庫 日本政策金融公庫

▶ 取締役 (2021年3月25日現在)

代表取締役社長	池田俊夫
取締役副社長	佐藤泰之
専務取締役	亀山重夫
常務取締役	曾根康博
取締役	多賀義明
取締役	吉國久雄
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡友和
社外取締役 (監査等委員)	藤原準三
社外取締役 (監査等委員)	石井克典

▶ 株式の状況 (2020年12月31日現在)

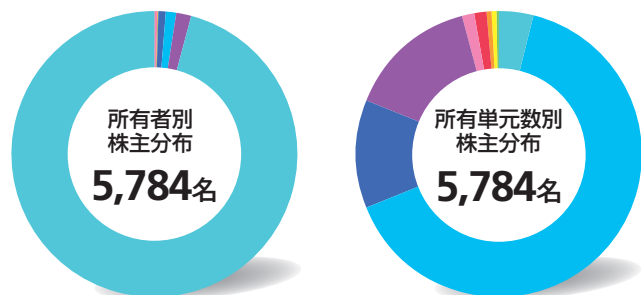
株式の総数

発行可能株式総数	40,800,000株
発行済株式の総数	13,508,300株
株主数	5,784名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	16.54 %
弘塑科技股份有限公司	1,000,000	7.40
GOLDMAN, SACHS& CO. REG	775,000	5.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	669,800	4.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	426,800	3.15
中銀リース株式会社	304,500	2.25
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	276,100	2.04
鳥越 琢史	256,400	1.89
株式会社中国銀行	223,500	1.65
タツモ従業員持株会	190,700	1.41

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,685株)を控除して算出しております。
2. 自己株式には役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、資産管理サービス信託銀行株式会社(現 株式会社日本カストディ銀行)(信託E口)が保有する当社株式276,100株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。



政府・地方公共団体	0名	1 単元未満	229名
銀行	3名	1 単元以上	3,782名
信託銀行	16名	5 単元以上	719名
生命保険会社	5名	10 単元以上	860名
損害保険会社	0名	50 単元以上	81名
その他金融機関	2名	100 単元以上	80名
金融商品取引業者	48名	500 単元以上	11名
その他法人	68名	1,000 単元以上	18名
外国法人等	98名	5,000 単元以上	4名
個人・その他	5,544名		

※自己株式は個人・その他に含めて記載しております。

※自己株式1,685株は10単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

▶ 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

● お問い合わせ先

0120-094-777(フリーダイヤル)

● 各種お手続き用紙のご請求

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 の 方 法 電子公告

公告掲載URL <https://www.tazmo.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【手続き書類のご請求方法】

■ インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ホームページのご案内

タツモのホームページでは当社の最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。



株主・投資家情報



企業情報



<https://www.tazmo.co.jp/>